

全農所属 石川佳純選手へ

JA全農福島直営「牛豊食べ放題お食事パスポート」を 贈呈

石川佳純選手（全農）は長年の夢であった「全農プレゼンツ石川佳純47都道府県サクスツアー」の第1回を福島県で開催しました。

全農福島県本部は石川選手に対して、震災と原発事故発生後から復興支援で来県するなど、福島県に寄せる温かい支援に感謝し、福島牛焼肉「牛豊」のフリーパスポートを贈呈しました。

現役選手として引き続き活躍されるとともに、サクスツアーが成功するよう贈呈したもので、「牛豊朝日店」「牛豊八山田店」で使用できる、金額・人数制限なしの食べ放題パスポートです。

全農は「アスリートの活躍を『ニッポンの食』で支える。」をスローガンに、国内外を問わず選手の皆さんが普段通りのパフォーマンスを発揮できるよう、「ニッポンの食」を通じてサポートしています。

福島県本部としても福島県産農畜産物を通じてアスリートの皆さんを応援していきたいと思っています。



パネルを手に笑顔を見せる石川選手



ウクライナ留学生に「ふくしまの米」贈呈



福島県本部はロシアによる侵攻で学ぶ環境を奪われたウクライナの学生を支援するため、学生を受け入れた東日本国際大学に6月10日、県産「コシヒカリ」とマスクを贈呈しました。

いわき市の東日本国際大学では、ウクライナから20人の留学生を受け入れ、5月から4人が新たな学生生活をスタートさせています。この日は金成広之副本部長から「食を通して留学生を支援したい」とパック入りの県産「コシヒカリ」600食分と不織布マスク600枚を大学に贈呈しました。

県本部では「福島の米を食べて体力をつけていただき、いつか故郷に戻った際は復興に携われる人材になってほしい」と願っています。今後もウクライナから避難した留学生などへの支援を行う予定です



緑川理事長に目録を渡す金成副本部長



贈呈式に参加した4人のウクライナ留学生

みんなで応援! 福島ユナイテッドFC

6月18日オフィシャルクラブパートナーとしてサポートしている福島ユナイテッドFCのホームゲームに福祉施設の方を招待し全農職員と一緒に全力応援しました!

試合前には、金成副本部長より両チームへ県産農畜産物の贈呈し、J2昇格できるよう激励を込めました。

試合結果は惜しくも0-1で負けてしまいましたが、これからも全農福島は応援します。頑張れ福島ユナイテッドFC!!



菅原夕亜さんを『愛情ふくしま大使』に任命！

全国オーディション「美少女図鑑2022アワード」において見事グランプリに輝いた菅原夕亜(すがわらゆあ)さん。

この度、JA全農福島は新たなイメージキャラクターとして福島県産農畜産物をPRする「愛情ふくしま大使」に任命いたしました。

任命式は6月17日(金)JA福島ビルでおこなわれ、渡部県本部長から「福島県の農業をもちたてて、菅原さんの発信力で福島県産農畜産物のPRを頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

菅原さんからは「私はきゅうりが大好き。福島の食べ物を県内外の多くの人に食べてほしいので、一生懸命頑張りたい。」と意気込みを語ってくれました。

今後は県内外で開催されるイベントに参加し、福島県産農畜産物のPRにJA全農福島と一緒に取り組んでいきます。



渡部県本部長から任命書を授与



大使としての抱負を語る菅原さん



Hands Up Together!のメンバーと記念撮影



「令和4年度夏秋青果物販売対策会議」を開催

園芸部では、6月16日に「令和4年度夏秋青果物販売対策会議」をJA福島ビルと各会場をリモート接続し開催しました。会議には県内各JA及び果実振興委員会の野菜・果実振興委員長(生産者代表)、福島県、県内・京浜・関西の代表市場、大手量販店のイオン東北株式会社・株式会社ヤオコーに参加いただきました。

産地からは生育状況や出荷見通しについて報告。市場からは販売情勢及び販売見通しについて報告いただきました。今年の販売対策としては福島県と連携した消費宣伝の実施や、イオン東北株式会社や株式会社ヤオコーをはじめとした量販店との需要にマッチした企画販売を実施します。

福島県は4月には凍霜害、6月には雹害が発生し、被害を受けた園地は少なくありません。園芸部としては、今後も自然災害にも負けず、生産が維持していけるよう、販売対策に努めて参ります。



農福連携 県内各地で実施中です！

営農支援部では福島県授産事業振興会と連携して農福連携に取り組んでいます。

農福連携とは、農業の労働力不足向上、障がいを持つ方の社会参画を目的とした取り組みです。

南相馬市小高区ではみょうが圃場の除草を行っています。少子高齢化の進む農村地帯では農業の働き手不足が深刻です。

全農福島は福祉事業所と協力しながら、労働力不足問題の解消に取り組んでいます。



福祉事業所利用者の方4名とスタッフ1名による作業

セントラルリーグ公式戦

巨人×中日

全農福島 「福、笑い」を贈呈

6月29日、ヨーク開成山スタジアムで開催された巨人×中日戦の試合開始前に渡部県本部長から、両チームに県産オリジナルブランド米「福、笑い」が両チームにそれぞれ100kgを贈呈しました。

巨人の八百板卓丸選手は聖光学院校出身。福島の水を食べて一軍レギュラー定着を期待しています。



チーム代表の八百板選手⑤と郡司選手⑥に福、笑いを贈呈



スタジアムの照明が点きナイター感十足！



バックスクリーンに贈呈式が表示される



↑

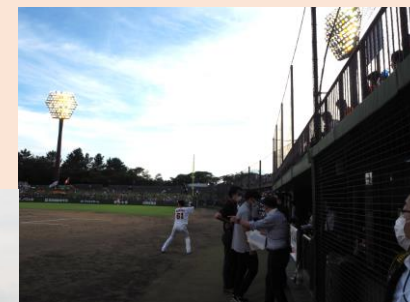
グラウンド内は限られた関係者しか入れないため、県本部長と広報課長の連携手渡し。

↓



福、笑いの美味しさを両選手に説明

中日、郡司選手へ贈呈



原監督へ、いつでも出れる！をアピール？



巨人、八百板選手へ贈呈

